

平成 29 年 5 月 22 日

水産庁長官
佐藤 一雄 様

全国クロマグロ養殖連絡協議会
代表 宮原 正典
別紙会員一同

クロマグロ養殖に係る施策への要望書

近年急速に拡大した日本のクロマグロ養殖は、国内の増産に加えて海外におけるクロマグロおよびミナミマグロの養殖生産量の大幅な増産が予想される現在、国内の養殖業者にとって大きな転換期を迎えつつあります。日本国内における市場規模は年間約 4 万トン余りの消費が限界であり、ここに増産されたクロマグロ製品が集中的に供給されれば、国内養殖業者への影響は著しく、多くの経営の破綻も危惧されます。

このような状況を打開し、クロマグロ養殖業の持続的な発展を図るため、我々は全国的に関係者が結束して対処する決意をして、本協議会を立ち上げたところです。

ついては、下記の支援を要望申し上げます。

記

1. 世界に向けた日本ブランド養殖クロマグロの販売拡大

海外市場の開拓のためには、ノルウェーサーモンに見られるように、官民一体となった強力な取組が必要です。ついては、中国等市場を念頭におき、

- シーフードショーなどの場で日本ブースを設け、養殖クロマグロに焦点を当てたキャンペーンを展開すること。
- キャンペーン資材作成の補助。
- マグロに関する ASC は基準の設定さえ難航している状況につき、世界に通用する日本独自の認証システムの推進。
- 海外ターゲットエリアのマーケティングとアクションプランの作成。

2. 研究開発の推進

- クロマグロ養殖事業が内包する種々の問題を解決するイノベーションの推進。
- クロマグロの完全養殖を推進するため、関係する技術開発を加速させると共に、人工種苗を安定的に供給するシステム構築に対する支援。
- マグロの育種についてオールジャパン体制を整えること。クロマグロ優良種苗

選抜育種技術の実用化に向けた研究開発推進。

- 実用的で低コストな固形飼料、次いで低魚粉・魚粉代替飼料を開発することも急務。
- 生餌・MP・固形飼料（EP）で養成したクロマグロの肉質評価と品質管理基準の策定。

3. 必要な体制整備等

- 資源の持続可能性を確保した上で、天然種苗を供給する体制づくり。
- 輸出手続き緩和のための相談窓口の設置と支援体制の構築。
- クロマグロ養殖製品の品質の向上への支援。
- 中国むけ鮮魚輸出の輸出諸手続きの簡素化、敏速化を図るための中国政府への働きかけ。

以上

全国クロマグロ養殖連絡協議会 会員名簿

天草漁業協同組合	(有)徳丸
うわうみ漁業協同組合	長崎県総合水産試験場
尾鷲物産(株)	○長崎県まぐろ養殖協議会
(株)海生水産	南紀串本水産(株)
金子産業(株)	○日本水産(株)
○(株)極洋	(有)日本鮪養殖
五島漁業協同組合	(有)橋口水産
○(国)水産研究・教育機構	フィード・ワン(株)
西南水産(株)	(株)ブルーフィン三重
○双日株式会社	(株)松岡
双日ツナファーム鷹島(株)	(有)松水
双日ツナファーム八勝(株)	丸八水産(有)
○大洋エーアンドエフ(株)	○マルハニチロ(株)
(株)ツナドリーム沖縄	(株)みつしま水産
(株)ツナドリーム五島	(有)吉秀水産
○株式会社道水	○和歌山東漁業協同組合
東洋冷蔵(株)	

○は幹事

水産庁長官

佐藤 一雄 殿

クロマグロ養殖に係る施策への要望書

2017年5月

全国クロマグロ養殖連絡協議会